

学 年
 4年

わる数が2けたのわり算の筆算 (2) ①

年 組 氏名 _____

1 724 ÷ 29 の計算のしかたについて考えましょう。

0	(1) 100 が <input type="text"/> こと 10 が <input type="text"/> こと 1 が <input type="text"/> があります。
2 4	(2) 100 が <input type="text"/> ありますが、7 ÷ 29 はできません。 そこで 100 を 10 が 10 ことみて、10 が 72 こと考えます。
2 9) 7 2 4	(3) <input type="text"/> ÷ <input type="text"/> は 2 が たつので 十の位に 2 と書きます。
5 8 0	(4) <input type="text"/> × <input type="text"/> の答えです。 この 58 は、何が 58 ことあることを表していますか。()
1 4 4	(5) この 144 は、何が 144 ことあることを表していますか。()
1 1 6	(6) <input type="text"/> ÷ <input type="text"/> は 4 が たつので、 <input type="text"/> の位に 4 とかきます。
2 8	(7) <input type="text"/> × <input type="text"/> の答えです。 この 116 は、何が 116 ことあることを表していますか。()
	(8) <input type="text"/> - <input type="text"/> = 28 なので、あまりは <input type="text"/> です。

2 同じように考えて、次の筆算をしましょう。

また、上の説明のように、自分で1カ所矢印をつけて、その説明を書きましょう。

$$16 \overline{) 818}$$

$$17 \overline{) 846}$$

学 年

4年

わる数が2けたのわり算の筆算 (2) ①

年 組 氏名

1 724 ÷ 29 の計算のしかたについて考えましょう。

$ \begin{array}{r} 29 \overline{) 724} \\ \underline{58} \\ 144 \\ \underline{116} \\ 28 \end{array} $	<p>(1) 100 が 7 こと 10 が 2 こと 1 が 4 あります。</p> <p>(2) 100 が 7 ありますが、$7 \div 29$ はできません。 そこで 100 を 10 が 10 ことみて、10 が 72 こと考えます。</p> <p>(3) $\overline{72} \div \overline{29}$ は 2 が たつので 十の位に 2 と書きます。</p> <p>(4) $\overline{29} \times \overline{2}$ (29×20) の答えです。 この 58 は、何が 58 ことを表していますか。 (10)</p> <p>(5) この 144 は、何が 144 ことを表していますか。 (1)</p> <p>(6) $\overline{144} \div \overline{29}$ は 4 が たつので、 の位に 4 とかきます。</p> <p>(7) $\overline{29} \times \overline{4}$ の答えです。 この 116 は、何が 116 ことを表していますか。 (1)</p> <p>(8) $\overline{144} - \overline{116} = 28$ なので、あまりは 28 です。</p>
--	---

2 同じように考えて、次の筆算をしましょう。

$ \begin{array}{r} 51 \\ 16 \overline{) 818} \\ \underline{80} \\ 18 \\ \underline{16} \\ 2 \end{array} $	<p>(例) 100 が 8 ありますが、$8 \div 16$ はできません。 そこで、100 を 10 が 10 ことみて、10 が 81 こと考えます。</p>	$ \begin{array}{r} 49 \\ 17 \overline{) 846} \\ \underline{68} \\ 166 \\ \underline{153} \\ 13 \end{array} $
--	---	---

(例) 17×4 の 68 は、10 が 68 ことをあらわしています。

学 年

4年

わる数が2けたのわり算 (2) ②

年 組 氏名

- 1 977この牛乳キャップを25人で分けます。1人分は何こになって何こあまりますか。

(1) 式をたてましょう。(商は、求めなくてもよいです。)

(2) ゆうま君が「わかった!」と説明をしましたが、まこさんは、「ゆうま君はまちがっているよ。」と言っています。さてどこがまちがっているのかを見つけて、ゆうま君に教えてあげてください。

$$977 \text{ (わられる数)} \div 25 \text{ (わる数)} = 38 \text{ (商)}$$

あまり27 (あまり) だよ。

ねんのためにたしかめ算もしてみたよ!

たしかめ算は、わる数×商+あまりがわられる数にもどればいいんだよね。

$$25 \times 38 + 27 = 950 + 27 = 977 \quad \text{だからまちがいなし!}$$

答えは、1人分は38こで、27こあまる です。



ゆうま君へ



まちがっているよ!

- (3) あなたも筆算でといてみましょう。

$$\begin{array}{r} 25 \overline{) 977} \end{array}$$

- (4) 正しい式と答えをかきましょう。

式

答え

学 年
 4年

わる数が2けたのわり算 (2) ②

年 組 氏名

1 977枚の牛乳キャップを25人で分けます。1人分は何こになって何こあまりますか。

(1) 式をたてましょう。(商は、求めなくてもよいです。)

$$977 \div 25$$

(2) ゆうま君が「わかった!」と説明をしましたが、まこさんは、「ゆうま君はまちがっているよ。」と言っています。さてどこがまちがっているのかを見つけて、ゆうま君に教えてあげてください。

977 (わられる数) \div 25 (わる数) = 38 (商)
 あまり27 (あまり) だよ。
 ねんのためにたしかめ算もしてみたよ!
 たしかめ算は、わる数 \times 商+あまりがわられる数にもどればいいんだよね。
 $25 \times 38 + 27 = 950 + 27 = 977$ だからまちがいなし!
 答えは、1人分は38こで、27こあまる です。



ゆうま君



まこさん

まちがっているよ!

・わり算のあまりはわる数よりも小さくならないといけなからまちがっています。

あまりの27この牛乳キャップは、もう1こずつ25人の子どもたちに分けられるから、1人分は39こで、あまりは2こになります。答えは、1人分は39こで、2こあまるです。

・自分で筆算をしてみたら、 $977 \div 25 = 39$ あまり2になりました。たしかめ算をしたら、 $25 \times 39 + 2 = 225 + 2 = 977$ になりました。ゆうま君のとくらべてみると、あまりが大きすぎるからまちがっているとわかりました。答えは、1人分は39こで、2こあまるです。

(3) あなたも筆算をしてみましょう。

$$\begin{array}{r} 39 \\ \hline 25 \overline{) 977} \\ \underline{75} \\ 227 \\ \underline{225} \\ 2 \end{array}$$

(4) 正しい答えをかきましょう。

$$977 \div 25 = 39 \text{ あまり } 2 \quad \text{1人分は39こで、2こあまる。}$$